

テーマ名		事業内容	事業期間	委託予算額
募戦1	人と協働する機械のactual use caseに基づく手部軽度傷害に関する安全試験方法の国際標準化	人との共存を実現する協働型機械のactual use caseを再現した手部傷害に関する新たな試験装置の仕様、現実の接触状況を再現した試験方法及び手部の試験結果判定基準を含む試験方法等について国際標準化を行う。	2年	39,100千円(上限)／初年度
募戦2	ウレタン原料に関する安全性評価における分析技術に関する国際標準化	ポリオール中の不飽和度について、水銀試薬を用いない試験方法の国際標準化、及びREACH規制や国内法における、ジイソシアネート分析方法の国際標準化を行う。	3年	6,400千円(上限)／初年度
募戦3	原料ゴムのコールドフローの求め方に関する国際標準化	ゴム製品の生産性・国際競争力の向上に資するため、原料合成ゴムの流動性評価法の国際標準化を行う。	3年	4,300千円(上限)／初年度
募戦4	自動配送ロボットに関する安全基準開発	配送の代替補助手段として期待されている、自動走行ロボットについて、機体及び遠隔監視・操縦システムの安全性に関わる、国際標準化を行う。	3年	18,000千円(上限)／初年度
募戦5	人工構造タンパク質素材の環境性能評価及び流通促進に関する国際標準化	次世代の革新的バイオ素材として期待されている、人工構造タンパク質について、環境面での有用性及び性能評価の国際標準化を行う。	3年	53,800千円(上限)／初年度
募戦6	適正包装に関する国際標準化	段ボールに係る発注の合理化及び誤発注の抑止を図り、サプライチェーン全体の輸送の効率化を推進するため、世界的に統一的な規格のない段ボール箱について、型式及び呼称等の国際標準化を行う。	3年	5,500千円(上限)／初年度
募戦7	伝統医学領域(漢方・鍼灸)の薬品・食品・医療機器および医療情報に関する国際標準化	灸具の燃焼生成物の安全性に関するフレームワーク規格の開発等漢方・鍼灸など伝統医学領域に関する国際標準化を行う。	3年	3,700千円(上限)／初年度
募戦8	バイオバンク横断検索システムに関する国際標準化	日本のバイオバンク横断検索システムと、欧州のバイオバンクネットワークをつなぐ、世界共通の分散型検索APIの国際標準化を行う。	3年	9,400千円(上限)／初年度
募戦9	バイオベース度の求め方に関する国際標準化	ゴム製品のバイオ由来原料の使用比率を正確に求める方法について、国際標準化を行う。	3年	9,200千円(上限)／初年度
募戦10	分野横断で要求されるアシストスーツのニーズ及び作業姿勢による腰負担評価指標に係るV&V試験方法の標準化	介護、物流、農業各業界で使われているアシストスーツについて、安全要求事項及び性能評価等の国際標準化を行う。	3年	10,000千円(上限)／初年度
募戦11	無人航空機の運航管理ならびに運航管理関連サービスに関する国際標準化	航空機の交通管制システムと無人航空機の運航管理システムの間での共通インターフェース等について、国際標準化を行う。	3年	15,000千円(上限)／初年度

テーマ名		事業内容	事業期間	委託予算額
募戦12	レーダー式保護装置に関する国際標準化	人手不足を補う協働ロボットについて、安全距離を短縮できる、レーダー式非接触人検知センサーの評価方法の国際標準化を行う。	2年	10,000千円(上限)／初年度
募戦13	ろ布性能および乾式小型ろ過集じん装置の性能評価試験法に関する国際標準化	粉じん爆発や粉じん火災を防止するには捕集する粉じんに応じて、帯電性能・難燃性能が正確に評価される必要があり、粉じん負荷時の帯電防止を目的とした、帯電特性及び放電性能の評価等の国際標準化を行う。	3年	2,600千円(上限)／初年度
募戦14	次世代通信技術に対応した情報配線システムの実現に向けた高度なスキル人材の確保に関する国際標準化	情報配線システムの高品質を担保する高度なスキルとその評価基準並びに育成法を見える化し、スキルセットとして規定する。	3年	17,545千円(上限)／初年度
募戦15	酸化物ナノ界面デバイスの熱耐性評価方法に関する国際標準化	酸化物ナノ界面デバイスの熱耐性評価法について国際標準化を行う。	3年	7,150千円(上限)／初年度
募戦16	テレワークにおけるサードワークスペースに関する国際標準化	自宅と職場以外においても業務を遂行できるサードワークスペースに関する分類・用語および、検索する際のアイコンの国際規格を開発するとともに、JIS化も行う。	3年	2,967千円(上限)／初年度
募戦17	持続可能な社会を実現するための人にやさしいランジションに関する国際標準化	持続可能な社会を実現するため、人間中心を前提としたランジション(転換)に共通的なあり方(アジャイル・ガバナンス、ハーム・リダクション等)と、そのためのサービスやシステムの要件・運用基準・評価方法、データの取扱い等に関する国際標準化を行う。	3年	20,000千円(上限)／初年度
募戦調1	ロボット言語(ROS等)及びハンドインターフェースの産業用ロボットへの応用に関する標準化調査	ロボット言語に関するソフトウェアプラットフォーム／独自言語インターフェース技術、信頼性・安全性の担保技術、ハンドインターフェースに関する各社ハンドと各社ロボットの接続技術、既存規格改訂仕様の調査を行い、産業用ロボットへの応用と標準化戦略を検討する。	1年	18,500千円(上限)／初年度
募戦調2	クレーンのテレマティクスに関する標準化調査	クレーン稼働データをテレマティクスにより国家間をまたいでボーダレスに利用することにより、クレーンの品質向上及びコストダウンが進むことが予想される。このため、我が国クレーン産業の競争力維持の観点から、クレーンのテレマティクスに係る動向調査等を行い、国際標準化の可能性を調査する。	1年	3,100千円(上限)／初年度
募戦調3	画像合成手法を用いた生体認証性能評価方法に関する標準化調査	画像合成手法を用いて少数サンプルから生体認証の性能評価する方法に関する調査を実施する。	1年	5,998千円(上限)／初年度
募戦調4	ヒューマン・マシン・チームの標準化に関する調査	AI・ロボットと人間のペアのチームで問題解決を行うHuman-Machine Teamingの考え方に基づいて、「ガバナンスと権限委譲」、「安全と信頼」、「モデル進化」、「インタラクション」の4つの領域で標準開発のフェージビリティスタディを行う。	1年	6,694千円(上限)／初年度
募戦調5	ブロックチェーンにおける電子認証の利用に求められる要求事項に関する調査	ブロックチェーンに書き込まれる前、書き込まれた後のデータの原本性、真正性を確保、確認するための電子認証の利用、認証Keyの取扱い方法等を標準化するために各国の制度や認証ベンダーの技術要件などを調査する。	1年	9,075千円(上限)／初年度